

平成28年不祥事ゼロプログラム検証結果

平成29年5月

事故・不祥事防止の取組みを、次の9の項目の達成状況について職員アンケートを行い検証した。

【検証】○：達成できた △：一部達成できた ×：達成できてない

【評価】A、B、Cの3段階

	取組課題	目標	検証		評価
			中間	最終	
①	公務外非行の防止（法令遵守の向上）	神奈川県行動指針に則り、勤務時間内外を問わず、全体の奉仕者である自覚を徹底し、公務員としての不適切な言動を未然に防止する。	○	○	A
②	セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の防止	セクハラ・パワハラ・わいせつ行為を未然に防止し、安全で安心な環境をつくる。	○	○	A
③	体罰及び不適切な指導の防止	体罰及び不適切な指導の発生を教育現場から根絶、一掃する。	○	○	A
④	適正な経理処理	関係諸規定に沿った公費執行と現金管理を行うとともに、私費会計事務処理の手引きに従い、適切な私費会計の徴収、現金管理執行を行う。	○	○	A
⑤	個人情報等の管理と情報セキュリティ対策	個人情報等の管理体制を確立し、情報の紛失及び流出を未然に防止する。	○	○	A
⑥	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理に係る事故の発生を未然に防止する。	○	○	A
⑦	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故の発生を未然に防止する。	○	○	A
⑧	毒物・劇物等の安全管理	毒物・劇薬等の安全管理を徹底する。	○	○	A
⑨	業務執行体制の確保	事故・不祥事が起こらない業務執行体制を構築する。	○	○	B

【総括】

「職員啓発資料」や独自作成資料を活用し、毎月事故・不祥事防止研修及や毎朝の打合における、業務に合わせたタイミングのよい注意喚起を粘り強く行い、全職員の事故・不祥事防止の周知・徹底を図った。

各課題の取組みにおいては、概ね高い評価を得られたが、「業務執行体制の確保」に関しては、今年度の重点項目とし、職場全体で相互チェック体制の工夫を図り、業務の協力体制を高めていきたい。